

2025 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

歴史総合＋世界史探究

解答

- I. A (1) ② (2) ③ (3) ② (4) ③ (5) ③
 (6) ① (7) ① (8) ① (9) ④ (10) ③
 B (1) ③ (2) ① (3) ④ (4) ② (5) ②
 (6) ① (7) ④ (8) ① (9) ④ (10) ①

- II. A (1) ② (2) ② (3) ④ (4) ③ (5) ③
 (6) ③ (7) ② (8) ② (9) ③ (10) ③
 B (1) ④ (2) ③ (3) ④ (4) ② (5) ②
 (6) ① (7) ④ (8) ③ (9) ④ (10) ②

- III. (1) ④ (2) ③ (3) ④ (4) ① (5) ④
 (6) ③ (7) ④ (8) ② (9) ③ (10) ④
 (11) ④ (12) ④

IV.

	A (誤)	B (正)	設問
1	ネストリウス	アタナシウス	ユリアヌス
2	ポッティチェリ	ポッカチオ	ゲーテンベルク
3	モガデシュ	トンブクトゥ	ニジェール川
4	アウン=サン	エンクルマ	デュボイス
5	西安事件	上海クーデタ	広州
6	光緒新政	戊戌の変法	ウィルソン

- V. (1) パフレヴィー2世 (2) ホメイニ
 (3) グレートゲーム (4) ブレジネフ
 (5) ムジャーヒディーオン (6) ポーランド
 (7) ワレサ (8) フォークランド戦争 (マルビナス戦争)
 (9) a. アトリー b. ゆりかごから墓場まで
 (10) 人民公社 (11) 南京条約

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

問I～IIIはマークシート式の選択問題です。

問I-Aは、古代ギリシアの思想についてとりあげました。後世の社会にさまざまな影響をあたえたギリシアの文化について注意深く学習しましょう。

問I-Bは、水滸伝の時代の中国史がテーマです。古典的な文学作品を手がかりとして時代背景を考察します。問I-Cはルネサンス期イタリ

アの文化をあつかいます。文化史と政治、社会の結びつきに注目しましょう。

問II-Aは、アフリカ大陸と諸地域世界のかかわりを取りあげました。問II-Bは、古代オリエントの王朝とそれらを築いた集団をテーマとします。

問II-Cはカルヴァン派の歴史とヨーロッパの政治・社会を関連させています。地名や人名にも注意して、諸地域の歴史を結びつける視点を身につけましょう。

問IIIは、中国における儒学と政治の関わりをあつかいました。諸子百家の時代から近代にいたるまで、時代をまたぐ大きな流れをとらえましょう。

問IVは、正誤判定の問題です。東南アジアの文化、中央アジアにおける王朝の興亡、ヨーロッパの科学史など、幅広いテーマを出題しました。

問Vは、グローバルな経済発展の構造を問う文章から出題しています。文章はやや高度ですが、設問は欧米の歴史を中心とした基本的な事項がほとんどです。確実に解答してほしいところです。

解答

- I. A (1) ① (2) ② (3) ④ (4) ② (5) ④
 (6) ④ (7) ① (8) ③ (9) ② (10) ①

- B (1) ③ (2) ② (3) ④ (4) ① (5) ②
 (6) ① (7) ② (8) ② (9) ① (10) ①

- C (1) ④ (2) ④ (3) ④ (4) ① (5) ②
 (6) ④ (7) ② (8) ③ (9) ① (10) ③

- II. A (1) ② (2) ④ (3) ② (4) ③ (5) ③
 (6) ② (7) ③ (8) ② (9) ② (10) ④

- B (1) ② (2) ④ (3) ③ (4) ③ (5) ③
 (6) ③ (7) ④ (8) ③ (9) ④ (10) ①

- C (1) ② (2) ③ (3) ① (4) ④ (5) ②
 (6) ③ (7) ② (8) ① (9) ③ (10) ④

- III. (1) 『戦国策』 (2) 荀子 (3) 『楚辞』 (4) 九品中正
 (5) 殿試 (6) 青苗法 (7) 顧炎武 (8) 淮軍
 (9) 無制限潜水艦作戦 (10) 中華革命党

IV.

	A (誤)	B (正)	設問
1	バンテン王国	シャイレンドラ朝	モン人
2	ホラズム朝	ティムール朝	ヤーコーブ=ベグ
3	ジェンナー	ニュートン	アルキメデス
4	リンネ	メンデル	マルクス

- V. (1) アシエント (2) ドレーク (3) 産業革命
 (4) ポトシ (5) プランテーション (6) アークライト
 (7) ダービー (親子) (8) メアリ 1 世
 (9) ピルグリム=ファーザーズ (10) ジェファソン
 (11) 砂糖 (12) アカブルコ

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

問 I~III はマークシート式の選択問題です。

問 I -A は、古代ギリシアの思想についてとりあげました。後世の社会にさまざまな影響をあたえたギリシアの文化について注意深く学習しましょう。

問 I -B は、水滸伝の時代の中国史がテーマです。古典的な文学作品を手がかりとして時代背景を考察します。問 I -C はルネサンス期イタリアの文化をあつかいます。文化史と政治、社会の結びつきに注目しましょう。

問 II -A は、アフリカ大陸と諸地域世界のかかわりを取りあげました。問 II -B は、古代オリエントの王朝とそれらを築いた集団をテーマとします。

問 II -C はカルヴァン派の歴史とヨーロッパの政治・社会を関連させています。地名や人名にも注意して、諸地域の歴史を結びつける視点を身につけましょう。

問 III は、中国における儒学と政治の関わりをあつかいました。諸子百家の時代から近代にいたるまで、時代をまたぐ大きな流れをとらえましょう。

問 IV は、正誤判定の問題です。東南アジアの文化、中央アジアにおける王朝の興亡、ヨーロッパの科学史など、幅広いテーマを出題しました。

問 V は、グローバルな経済発展の構造を問い直す文章から出題しています。文章はやや高度ですが、設問は欧米の歴史を中心とした基本的な事項がほとんどです。確実に解答してほしいところです。

文学部コア試験

解答

- I. A (1) ③ (2) ② (3) ③ (4) ② (5) ③
 (6) ③ (7) ① (8) ② (9) ② (10) ②
 B (1) ① (2) ① (3) ④ (4) ③ (5) ④
 (6) ② (7) ② (8) ④ (9) ② (10) ③

- II. A (1) ② (2) ② (3) ④ (4) ④ (5) ④
 (6) ② (7) ③ (8) ②
 B (1) ④ (2) ② (3) ② (4) ④ (5) ②
 (6) ③ (7) ② (8) ③

- III. (1) ④ (2) ① (3) ④ (4) ④ (5) ④

IV.

	A (誤)	B (正)	設問
1	カレー	オルレアン	チューダー朝
2	8月10日事件	国民公会	サン・ドマンダ
	廃位	王権停止	
※いずれの選択肢を解答した受験者にも得点を与えた。			
3	土木の変	靖康の変	淮河
4	南京	武昌	袁世凱
5	サダト	ラビン	ノルウェー
6	シリア	クウェート	クルド人 (クルド民族)

V. A (以下は模範的な解答例)

前半期は均田制による土地の配分、租庸調制による徴税、府兵制による徴兵を実施し、人民を個別支配する一方、周辺諸民族を服属させ広大な領域を統治した。税と兵役負担を苦しめ逃亡者が続出して上記諸制度が行き詰まると、傭兵による募兵制に切り替え、その指揮官として節度使を置いた。安史の乱後は節度使が内地で藩鎮化して分裂状態となったが、土地・財産に応じて課税する兩税法や塩の専売を導入して財政再建をはかった。

B (以下は模範的な解答例)

教皇庁はコンスタンツ公会議で教会大分裂を終了させ聖書中心の思想を説くフスを異端とした。サン・ピエトロ大聖堂をルネサンス様式に改築する資金調達のため教皇庁が贖宥状を販売したことをルターは批判し、宗教改革が始まった。カトリック側も改革を行い、トリエント公会議で教皇の至上権と旧来のカトリッ

ク教義が再確認された。聖職者の腐敗防止等の自己改革の動きの一方、焚書目録作成や宗教裁判での異端弾圧強化もみられた。

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

問 I～III はマークシート式の選択問題です。

問 I-A は、インドにおけるイスラームの浸透をテーマとしています。政治と文化の流れを長期的な視点から考察することで、南アジア世界の多様性について考えてもらうことをめざしています。

問 I-B は、ドイツ騎士団の歴史をテーマとしています。国家や王朝単位の歴史では抜け落ちがちな視点をおぎないつつ、中東欧という歴史世界について考えるための問題です。

問 II-A は、古代ギリシアの諸都市について扱いました。ペルシアとの関係を中心として、諸ポリス間の複雑な関係の理解を問いかけています。

II-B では、清末以降の中国の知識人について論じました。東アジアの近代化に際してどのような思想が生まれたかを考えることは、日本の歴史を考える上でも重要なテーマと言えます。

問 III は、歴史上の事件や出来事を時代順に並べる問題です。個々の事実をばらばらに記憶するのではなく、それらの事実が相互にどのような影響を与えたかを考えましょう。

問 IV は、正誤判定の問題です。近世・近代のヨーロッパにおける女性、宋代と日露戦争期の中国、20 世紀後半の中東情勢という、幅広いテーマを出題しました。設問 2 については、8 月 10 日事件で廃位されていたという記述について（誤：8 月 10 日事件→正：国民公会）または（誤：廃位→正：王権停止）という解答も正解として得点を与える措置をとりました。

問 V はそれぞれ 200 字の論述問題です。A は唐の前半期と後半期の国家体制の比較、B は 15 世紀から 16 世紀中頃までの教皇庁の歴史をテーマとしました。まず、論述の主題となるテーマは何か、時代はどこからどこまでと区切られているかを慎重に検討しましょう。そして三つのキーワードを正しい順番で論理的に結びつけ、具体的な情報を補いながら記述することが重要です。

国際社会科学部コア試験・経済学部プラス試験

解答

I. A (1) ③ (2) ① (3) ② (4) ④ (5) ③
(6) ③ (7) ③ (8) ② (9) ② (10) ③

B (1) ④ (2) ③ (3) ④ (4) ① (5) ④
(6) ③ (7) ④ (8) ④ (9) ④ (10) ③

II. A (1) ④ (2) ③ (3) ② (4) ④ (5) ③
(6) ② (7) ① (8) ③ (9) ④ (10) ①

B (1) ④ (2) ④ (3) ② (4) ③ (5) ④
(6) ③ (7) ① (8) ④ (9) ③ (10) ③

III. (1) ③ (2) ④ (3) ② (4) ③ (5) ①
(6) ④ (7) ② (8) ④ (9) ③ (10) ②
(11) ④ (12) ④

IV.

	A (誤)	B (正)	設問
1	宋	梁	四六駢儷体
2	董仲舒	鄭玄	タラス河畔の戦い
3	『書経』	『孟子』	陸九淵
4	マンチェスター	リヴァプール	オランダ西インド会社
5	シーア派 14 世紀	スンナ派 13 世紀	イブン＝ハルドゥーン
※いずれの選択肢を解答した受験者にも得点を与えた。			
6	シパーヒー	イエニチェリ	スレイマン 1 世

V. (1) スプートニク 1 号 (2) 沈黙の春 (3) 成長の限界
(4) ホー＝チ＝ミン (5) ケネディ (6) デタント
(7) 東南アジア諸国連合 (8) 戦略兵器制限 (9) 毛沢東
(10) アポロ (11) OAPEC (12) レーガン

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

問 I～III はマークシート式の選択問題です。

問 I-A は、人権の思想について近世から現代までの流れをとりあげました。現代社会の諸問題について意識を深めるきっかけにしましょう。

問 I-B は、イベリア半島をめぐるイスラーム勢力とカトリック勢力の関係を取りあげました。宗教間の交流と対立を考えましょう。

問II-Aは古代ローマの政治史をあつかいます。共和政から帝政へという流れを着実に理解しましょう。

問II-Bは東南アジアの歴史がテーマです。多様な宗教や文化が交流してきた東南アジア世界の特徴に注目しましょう。

問IIIは清朝末期の近代化について、対外関係から検討しています。現代の国際社会の成立を考える上で重要なテーマです。

問IVは正誤の問題と関連する語句を記述する問題です。正しい解答を導き出すためには、教科書や用語集の語句説明に注意して、ていねいな学習を心がけましょう。設問5については2箇所の誤りが含まれていたため、(誤：14世紀→正：13世紀)という解答も正解としました。

問Vは、20世紀の世界における科学技術の発展をテーマとした文章から出題しました。環境問題やエネルギー政策などの流れを国際政治や社会とのかかわりをふまえて理解することは、大学への学びの基礎となるはずです。